

主な目的

流域治水、豪雨対策への対応。カーボンニュートラルへの対応。災害時の電源供給。

効果

雨水浸透・貯留しせつにより下水道の負荷が軽減される。流域治水。身近な場所で太陽光発電が可能で災害時に有効。カーボンニュートラル。ソーラーパネルの陰により、車も暑くなりにくい。

技術の概要

■技術のポイント

- 舗装された駐車場を雨水浸透・雨水貯留の場、身近な太陽光発電発電場として活用する。

■技術の内容

- 車止め後部を砂利敷または緑地にし、浸透トレンチを敷設して雨水浸透の場に。必要に応じて雨水貯留槽を設置して雨水浸透貯留の場に。カーボンニュートラルを考慮して、駐車部の上にはソーラーパネルのパーゴラを設けて太陽光発電の場に。

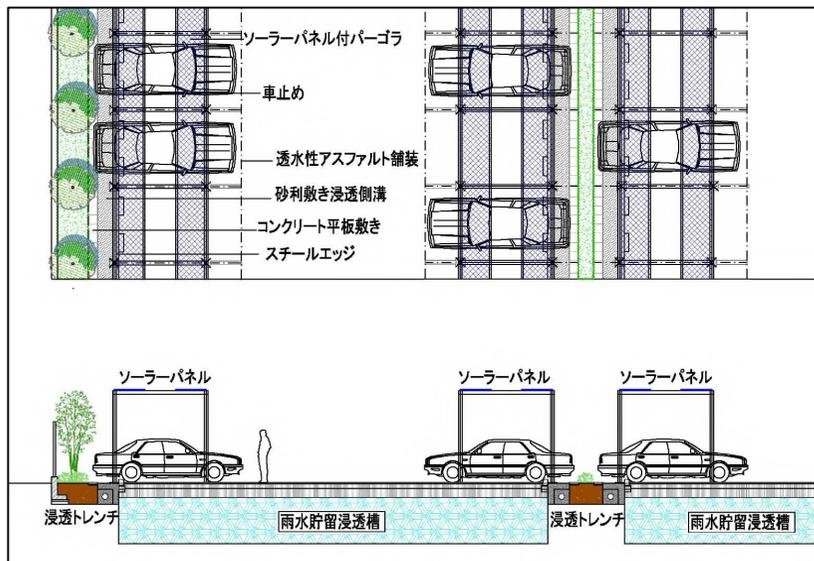


図 レインパーキング+ソーラーの模式図



写真 現状の駐車場



写真 駐車場後部の現状



写真 車止め後部に浸透トレンチ敷設



写真 ソーラーパネル設置のパーゴラ
のイメージ

技術の適用場所

都市緑化、駐車場

適用事例

提案中

問い合わせ先

団体名：エコ&ヒーリングランドスケープコンサル

連絡先：エコ&ヒーリングランドスケープコンサル

樹木医・環境造園家 豊田幸夫

(メール: ytoyoda.eco.hlcd@gmail.com)